



# MAKING BETTER POLICIES FOR FOOD SYSTEMS

WEBINAR ON 14 APRIL 16:00 JST / 9:00 CET | #BetterFoodSystems

現在、持続可能な開発目標 (SDGs) を達成に向け、我々の食料システムをいかに持続可能なものに変えていくかが世界的な課題となっています。世界の人口が100億人に近づきつつある中、限りある資源でこれらの人口に対する食料供給をいかに確保するかは大きな課題であり、技術開発が果たす役割も大きく期待されています。また、こうした食料システムの変革をテーマに、2021年9月には国連食料システムサミットの開催も予定されるなど、いま世界中で食の問題は注目を集めています。

OECDでは、本年1月に「Making Better Policies for Food Systems」と題し、現下の食料システムが抱える課題とその解決方向についての分析報告を公表しました。今般、OECDと農林水産省では、本報告書をもとに、フードテックの果たす役割を議論するためのウェビナーを開催します。OECDによる本報告書の発表、農林水産省の世界食料システムサミットに向けた取組、フードテック官民協議会メンバーの2団体からの発表と、多角的な内容となっております。持続可能な食料システムの実現にフードテックがどのように貢献できるか考える機会となるので、ぜひ多くの方々の参加をお待ちしております。

○日時：4月14日（水） 16時～18時

○開催方法：Web開催（使用ソフトはZoom） 同時通訳付

○対象：フードテック官民協議会メンバー、OECD事務局、農林水産省

○テーマ「フードテックは持続可能な食料システムの実現にいかに貢献できるか」

○プログラム

16:00 イントロダクション

Dr Lee Ann Jackson OECD 貿易・農業局農業食料貿易市場課長

16:10 「Making Better Policies for Food Systems」

Dr Koen Deconinck OECD貿易・農業局 政策分析官

16:45 「国連食料システムサミットに向けた取組」

農林水産省国際部国際機構グループ 米田立子 国際交渉官

16:50 「昆虫はその機能でタンパク質を超える」

(株) 愛南リベラシオ 井戸篤史 代表

17:15 「日本の細胞農業分野におけるルール形成に向けた取り組み」

多摩大学ルール形成戦略研究所 細胞農業研究会事務局広報委員長 吉富愛望アビガイル

17:40 パネルディスカッション

上記メンバー及びWFP（国連世界食糧計画）日本事務所 焼家直絵 代表

18:00 終了

○定員：定員は100名とし、超過した場合聴講の可否を前日までにお知らせします。

○申込み方法：4月5日（月）までに、当方のメールアドレス [kokusai.oecd@maff.go.jp](mailto:kokusai.oecd@maff.go.jp)

宛に、参加希望者の「所属」「氏名」「メールアドレス」を送付願います。参加者のみ事前にメールアドレスへZOOMリンク等送付します（転送厳禁）。

担当：農林水産省国際部国際機構グループ 赤坂  
 連絡先：03-6738-6155（直通） 内線 86088